

北海道社会保険病院だより

平成15年9月15日 創刊号

挨拶

院長 岸 不盡彌

今年の夏はとうとう真夏日が一日もない冷夏で、残暑もつかの間、すっかり秋めいてまいりました。株価は回復と報道されていますが実感はなく、北海道経済は天候以上に冷え込んだままです。医療の分野では昨年の診療報酬のマイナスイタス改定、今年の社会保険料や患者自己負担率の増、介護保険負担の増など、患者にも医療者にも厳しい状況になっていきます。少子高齢社会の中で安心して暮らすためには、これまでよりも社会保障、医療保障の充実が国民の願いであります。国の施策はその方向にはなく残念に思っています。

こうしたなかで、北海道社会保険病院は平成9年に新築工事に着手して以来7年を数え、この12月には完工する予定です。この間地域の皆様や患者の皆様には何かとご迷惑をおかけしましたが、ご支援ご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。当院は、診療科目、診療内容とも見直し充実を図り、真に患者様に信頼していただける質の高い医療サービスを提供できるようにいたしました。急性期病院として地域の診療所との連携、二次救急医療体制、循環器疾患の24時間365日

体制をとり、地域周産期医療センターを併設しています。また健康管理センターでの

予防医療のための健診、小児デイケアセンターでの病児保育、介護老人保健施設サンビュー中の島でのデイケアサービス等も行っています。

このたび当院の活動の一端を地域の皆様にお知りいただき、交流の場を持つために本紙を発行することに致しました。お気づきのことがありましたら遠慮なくお寄せください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

北海道社会保険病院の成り立ち

社会保険病院は厚生労働省、社会保険庁が健康保険制度および厚生年金保険制度の普及発達のために設置した施設で、社団法人全国社会保険協会連合会が国から経営を委託されたいわゆる国設民営の施設であります。

当院は昭和26年10月に国の結核対策の一環として、札幌郡豊平町中の島に結核療養所として建築が着工され、昭和28年2月に最初の患者さんが入院しました。当時の中の島は札幌でも有名な林檎園でありましたが、バスも通っていないため、病院への通勤や見舞いは豊平川をはさんで市電で川向まできて、幌平橋、堤防を歩いて通ったものです。たまに、堤防を走る真駒内駐留軍の特別バスやトラック

に便乗させてもらうのが楽しみのひとつでもありました。昭和47年11月に札幌オリンピック冬季大会が真駒内を中心に開催され、病院付近の交通網が大幅に整備されました。昭和53年に結核病床を46床、一般病床304床、計350床の総合病院となり、今日に至っています。

医療費の財政急迫の為、国の施策が厳しい状況に立ち至りつつありますが、新病院完成を機会に患者様に十分満足される医療サービスの提供を心がけ、愛される病院に生まれ変わることを職員一同誓い合い、着実に新しい歴史を築きつつあります。

(事務局 後藤)

病院の工事がすべて終わります

平成15年12月12日北海道社会保険病院は駐車場の完成により、平成9年秋に着工した全ての工事を完了します。7年間もの長いあいだ地域住民の皆様、又、当院をご利用の皆様には多大なご協力、ご理解を頂きました。改めて御礼申し上げます。現在旧病院あとに、中の島通りに面した外来正面玄関前に170台分の駐車場を整備中です。西側および健康管理センター裏の駐車場110台を加えると280台駐車することができるようになります。新しい駐車場をご利用頂くにあたりましては、一定の料金を徴収す

る事となりますが、方式は改めてご案内致します。

尚、入院の患者様については、原則乗り入れは出来ない事になっていきます。又、車上狙いなどの被害を避けるためにもご協力頂くようお願い申し上げます。(施設課 松下)

紫外線による皮膚障害

皮膚科医長 松坂英信

最近、オゾン層の破壊とそれに伴う紫外線の増加が危惧されており、我々も紫外線に対してどのように接してゆくべきか知る必要がある。

紫外線の特性

紫外線は、その波長により、長波長紫外線、中波長紫外線、短波長紫外線に分けられる。

特に障害性の強い短波長紫外線はオゾン層で吸収されるために地表にはほとんど到達しないが、長波長紫外線と中波長紫外線は地表に到達し、人の皮膚に対して影響を与えている。紫外線の一般的な特徴として次のものが挙げられる。

- ・ 北半球では1年のうちに5月～7月に紫外線量が多い。
- ・ 1日のうち正午前後の10～14時に紫外線量が多い。
- ・ 曇りの日は晴れた日の60%、雨の日では約20%の紫外線量になる。

- ・ 照り返して照射量は増える。雪面で約80%、水面で約10～100%、コンクリートで約5～6%、乾燥した砂で約15～20%、芝生で1～2%反射する。

- ・ 緯度が低いほど紫外線量は増加する。札幌での中波長紫外線を1とすると、神戸で1.8、宮崎で3.4といわれている。
- ・ 標高が高いほど紫外線量は増加する。300m高くなると紫外線量は4%増加する。

紫外線の皮膚に与える影響

長波長紫外線と中波長紫外線はその作用がやや異なり、またその強さも異なる。中波長紫外線は長波長紫外線の10分の1程度しか地表に到達しないが、その強さは中波長紫外線の千倍といわれている。

また皮膚内への到達度も異なり、中波長紫外線は表皮レベルまでしか到達しないが、長波長紫外線は真皮中層まで到達する。よって長波長紫外線は真皮の膠原繊維を変性させ、光老化を惹起することになる。

一般的な紫外線の作用を急性の反応と慢性の反応に分けると次のようになる。

- ・ 急性の反応
紅斑、色素沈着、皮膚の免疫力の低下
- ・ 慢性の反応

皮膚の肥厚(項部の菱形皮膚)、シミ、しわ、皮膚癌
また長波長紫外線と中波長紫外線の作用で分けると次のようになる。

- ・ 長波長の作用
サンタン(即時型黒化)メラニンの酸化によって生じる、光老化、光アレルギー反応
- ・ 中波長紫外線の作用
サンバーン、サンタンへ遅発型色素沈着 メラニン産生酵素の活性化によって生じる、光老化(シミ、しわ)、光発癌、ビタミンD合成

このように紫外線には様々な有害な作用があり、防御が必要であることがわかる。そこで次のことに注意して、紫外線の対策を行ってください。

簡単にできる紫外線対策

- ・ 敵を知る!!
季節、時刻、気象状況、地理的条件などにより太陽光線の強さが違う。
- ・ 防御を固める!!
衣服(ゴルフキャデイのスタイルが理想的)、ヘアスタイル、眼鏡、窓ガラス、紫外線遮断フィルム、日焼け止めを正しく使う。

編 集 後 記

本広報誌をより充実したものに育てていきたいと思っております。ご意見をお寄せください。

編集責任者
事務局 後藤 英昭

北海道社会保険病院

TEL : 011-831-5151

URL : <http://www.hok-shaho-hsp.jp/>

メールアドレス : hokkab02@siren.ocn.ne.jp

新任医師の紹介

産婦人科

有賀 敏 医師

長年勤務された天使病院から8月1日付で来られた経験豊富な長先生です。

小田 泰也 医師

6月10日付赴任の富良野協会病院から来られた背高ノツポの産婦人科医です。

内科・血液膠原病科

山本 聡 医師

7月1日から当院に新しく開設された血液・膠原病科に札幌市立病院から赴任しました。